

焼却灰等の放射能濃度測定結果について

- ・測定機関 株式会社 日本環境調査研究所
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(平成23年12月 環境省)
- ・測定機器名 ゲルマニウム半導体検出器

(単位:Bq/kg)

対象施設	検体	試料採取日	セシウム		
			134	137	計
戸塚環境センター	焼却主灰	9月26日	不検出(18)	22	22
	飛灰		不検出(23)	87	87
朝日環境センター	溶融スラグ		不検出(14)	不検出(13)	不検出
	溶融飛灰		20	150	170

※ 不検出とは、検出下限値未満を表します。()内は検出下限値を表します。

※ 検体について

焼却主灰 :燃やしたごみの燃えがら

飛灰 :ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)

溶融スラグ :ごみを高温で溶融してできるガラス状の物質

溶融飛灰 :ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)を
薬剤処理し、セメント固化したもの(固化灰)

空間放射性線量率測定結果

(単位: $\mu\text{Sv}/\text{h}$)

対象施設	測定日	敷地境界				
		東	西	南	北	*1
戸塚環境センター	9月26日	0.047	0.034	0.059	0.050	0.047
朝日環境センター		0.047	0.063	0.061	0.059	0.061

※ 測定は市職員が行っております。

測定機器:(株)堀場製作所製 環境放射線モニタ PA-1000 ラディ

地表100cmの位置で測定実施

*1 焼却設備から最も離れた敷地境界です。